

事業名称		達成状況の評価
事業名	県営農村地域防災減災事業	A
整理番号	29-2	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	ため池の改修	
市町村名	飯島町	
箇所名	(千人塚)上伊那郡飯島町七久保	
事業年度	平成29年度～令和3年度	
		配慮した項目 31 = 100% 配慮する全項目 31
事業概要		
目的	平成26年度に実施した耐震性点検の結果、安全性が確保されていないことが確認されたため、本事業により耐震対策を実施し、下流域の安全を図る。	
事業概要	地盤改良工 N=9本 改良径φ2000mm	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	県立自然公園	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域 隣接地に森林法の保安林等	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
水環境	【水質汚濁の防止】	
	・地盤改良は適切な薬液を選定し、必要最低限の薬液注入範囲とする。	適正に実施
	・沈砂池・沈殿池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	適正に実施
地形・地質	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実施
	・工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。	適正に実施
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
野生動植物	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生息適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	適正に実施
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	適正に実施
	・ため池内部や堤体に希少植物や希少昆虫の食草が確認された場合必要に応じて保全措置を行う。	適正に実施
	・ため池に生息する魚類は捕獲し移動させる。	適正に実施
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・カイツブリやヨシゴイなどの絶滅危惧種の生息・繁殖が確認された場合、工事期間の調整などの配慮に努める。	適正に実施
	【地域独自の生物多様性の保全】	
・表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。	適正に実施	
・在来種による植樹・緑化を行う際は自生個体群の遺伝的攪乱がおきないように配慮する。	適正に実施	
・ブルーギルやブラックバスが生息する場合、排水にあたり流出しないよう配慮する。	適正に実施	

	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
	・自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負担の少ない素材を使用する。	使用する工種がなかった
景観	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	適正に実施
	【良好な景観の育成】	
	・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。	伐採工事がなかった
自然とのふれあい	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【自然とのふれあい空間の創出】	
	・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。	伐採工事がなかった
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	・木材チップを使用する場合、廃棄物の適正な処理の確保に関する条例を順守する。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・自然石、県産木材等環境に負担の少ない資材の使用に努める。	適正に実施
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
	・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	使用する工種がなかった
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負担の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施